



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

地域学校協働活動 令和7年10月22日（水）実施 南相馬市立太田小学校「稲刈り体験」

令和7年度協働のまちづくり事業訪問「稲刈り体験」

稲穂が見事に実り、本日は、手作業で稲刈りをしました。校長先生から、「『米』という字を分解すると『八』『十』『八』になることから、『米』という漢字は、八十八回もの手間をかけて作られるという意味が込められている。」という説明がありました。また、「これまで協力して育ててくださっている地域の方々に感謝をして、稲刈りをしましょう。そして、鎌を使うので、怪我しないように注意して行いましょう。」というお話がありました。

地域学校協働本部の皆さんや協力して下さる米農家の方々、保護者・近所の方と多くの人が集まってくださいました。代表の方の「みんなで頑張ろう！ えい・えい・オ～♪」という掛け声で、稲刈りが始まりました。



少し肌寒い日（気温 14℃）でしたが、みんな真剣な顔で夢中になって稲刈りをしました。その中に輝く眼差しがありました。集中力は、見事でした。その子の列は、あっという間に刈り終わりました。額からは、誇らしげな汗が流れ落ちていました。忍耐強さを感じました。



稲刈りの後、先生から「丁寧に扱って、（刈った稲を「はさ稲架」まで）運んで！」という声かけがありました。子どもたちは反応し「農家の方々と協力して作ったお米（稲穂）だから、大事に運ばないとね」「大事に！大事に！」と、感謝する言葉が起きました。これから、天日干し（はさがけ）を行います。稲を「はさ稲架」と呼ばれる梯子状の装置に掛けて、太陽の光と風で自然乾燥させます。水分を 20%程度から 15%程度に下げ、乾燥させることで虫やカビの繁殖を抑えるそうです。機械乾燥と比べて、乾燥に時間がかかる分、稲の葉や茎に残った養分が米粒にゆっくりと移って、うまみ成分の「アミノ酸」が増加するので美味しく、甘み、香りも増加すると学びました。

次回 10 月 30 日(木)は、脱穀体験です。最後に「今日は楽しかったですか？」と子どもたちに尋ねると、「楽しかったです。気持ちよく稲が切れたので。」「みんなと一緒に稲刈りしたので。」理由は様々でした。満足した様子に秋の実りを感じ、貴重な体験活動の一日となりました。



【今回掲載した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影されたものです】

